

出向く宮農レポート

～品質向上を目指して～



南部宮農センター
安部 蒼汰

令和5年度に女性のアグリスクールを卒業。現在は豊明産直友の会会員である花城久美子さんの圃場を訪ねました。

4月に出向き、2月下旬に定植を行った給食用キャベツの生育を確認しました。

この時期、キャベツの栽培で注意することは害虫による被害です。4月以降に気温が上昇するとアブラムシやアザミウマ、チョウ目幼虫などが発生します。アブラムシやアザミウマによる吸汁やチョウ目幼虫による食害された野菜は給食用としての出荷が困難となります。そのため定期的かつ継続的に防除を行う必要があります。

今回はチョウ目幼虫が確認されたので、チョウ目幼虫に登録のある農薬としてフェニックス顆粒水和剤で防除を行うように指導をし、アザミウマ対策としてスピノエース顆粒水和剤を案内しました。

花城さんは親子で女性のアグリスクールを卒業され、豊明西部産直センターや豊明フレッシュセンターに産直出荷や学校給食への出荷を積極的に取り組まれています。昨年はキャベツ以外にもタマネギやネギ、プチヴェールを出荷されており、「今後も多品目の野菜を、安定して出荷できるように頑張りたい」との意気込みをいただきました。

キャベツのチョウ目幼虫対策



フェニックス顆粒水和剤

幅広いチョウ目害虫に高い効果があります。
効果持続性に優れ、散布後長期間安定した効果が得られます。

- 希釈倍数：2,000～4,000倍
- 使用量：100～300L/10a
- 使用時期：収穫前日まで

キャベツのアザミウマ対策



スピノエース顆粒水和剤

速効性に優れ、散布翌日から高い効果があります。また、残効性にも優れ、通常の条件下では7～10日以上効果が持続します。

- 希釈倍数：5,000倍
- 使用量：100～300L/10a
- 使用時期：収穫3日前まで



使用に際しては、製品ラベルの記載内容に従ってご使用ください。

